



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 株式会社あらた 上場取引所 東
コード番号 2733 URL <https://www.arata-gr.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 須崎 裕明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 法務・広報IR・ESG本部長 (氏名) 土谷 信貴 TEL 03-5635-2800
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	719,119	5.9	12,428	23.1	12,999	20.5	8,736	20.8
2023年3月期第3四半期	678,996	4.0	10,097	△5.2	10,785	△4.9	7,233	△5.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,455百万円 (23.3%) 2023年3月期第3四半期 7,667百万円 (17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	255.84	250.45
2023年3月期第3四半期	211.80	200.99

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	336,793	108,070	32.1	3,187.00
2023年3月期	290,857	102,066	35.1	2,988.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 108,053百万円 2023年3月期 102,066百万円

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	68.00	-	68.00	136.00
2024年3月期	-	83.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	51.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2024年3月期（予想）の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮した額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の期末配当金は19円増配となる102円、年間配当金は185円であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	928,000	4.1	14,900	16.3	15,700	14.8	10,500	27.7	307.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、614円54銭であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	36,057,424株	2023年3月期	36,055,280株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,153,026株	2023年3月期	1,902,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	34,147,095株	2023年3月期3Q	34,153,129株

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕P5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算発表後に当社ウェブサイト (<https://www.arata-gr.jp/ir/>) にて公開を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループにおける財政状態及び経営成績の分析は、次のとおりであります。

文中の将来に関する事項については、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へ移行されたことで、国内外における人流が活発となり、インバウンド需要等による回復が期待されるなど、経済活動が正常化に向けて動き出しました。

一方、個人消費につきましても、ここ数年とは違う新しい生活様式に向けて期待が持てる一方、不安定な国際情勢や円安の影響等を背景にした原材料や資源価格の高騰による物価の上昇により、消費者の生活防衛意識が一層強まり、節約志向は一段と高まりをみせており、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において、当社グループはこれまで以上の成長を果たすべく、「中期経営計画2026」（2024年3月期～2026年3月期）で掲げた各重点施策を着実に推進しております。

当社は設立時より各小売業様の「店頭」を常に意識し、当社の強みである独自の情報分析を活かし、消費者の生活様式の変化や購買意識の変化を捉えることにより従来から継続してきたカテゴリー戦略を引き続き実施し、さらに専売・優先流通品の拡大により当社グループの独自性を強化してまいりました。

ペット関連商品については、ペットの体調やライフステージに合わせたフードの提案、ペットに喜んでもらい、ペットとの生活をより楽しくするためにペット用おやつ等の提案を実施する等、あらたグループのペット専門卸商社であるジャベル株式会社の専門性を活かした戦略を実施してまいりました。

また、化粧品関連商品については、外出機会が増加したことに合わせて基礎化粧品やメイクアップの提案等、消費者の行動変化を見据え、豊かで快適な暮らしに結びつく店頭の強化を実施してまいりました。

このように、戦略的な営業活動の積み上げによるインスタシェアの拡大、さらに、商品調達・企画・開発機能を強化することで、当社の独自性ある商品の取扱を拡大し、消費者に選ばれる商品を展開してまいりました。

このような営業活動の結果、売上高は前年同期比5.9%の増加と、第3四半期としては8期連続の増加となりました。

販売費及び一般管理費については、資源価格の高騰により配送費等が増加しております。また、長期的視点に立った人事戦略として人的資本への投資を積極的に行うこととしており、2023年4月よりスタートした新人事制度で社員の給与水準向上を図ったことにより、社員一人当たり給与が約9%増加し、人件費全体が増加しております。一方で、生産性向上に向けてIT中計施策を中心とした各種施策を戦略的に実施することによって庫内・業務生産性が向上し、結果的に売上高が前年同期比5.9%の増加の中、販売費及び一般管理費は、前年同期比4.5%増加と1.4ポイント抑えることができました。

以上のような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は719,119百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は12,428百万円（前年同期比23.1%増）、経常利益は12,999百万円（前年同期比20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,736百万円（前年同期比20.8%増）となり、新中期経営計画2026実現に向けて順調に推移しております。

カテゴリー別売上実績

当第3四半期連結累計期間におけるカテゴリー別売上実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

カテゴリー	主要商品	当第3四半期連結累計期間	
		自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	前年同期比
ヘルス&ビューティー (Health & Beauty)	化粧品、装粧品、入浴剤、身体洗浄剤、ヘアカラー、オーラルケア、医薬品、健康食品	221,509	104.6
ハウスホールド	衣料用洗剤類、台所・食器用洗剤類、住居用洗剤類	103,950	104.2
ホームケア	芳香・消臭剤、防虫剤、殺虫剤、薰香ローソク、乾電池/乾電池応用品、記録メディア、照明用品、電気応用品、OA用品、写真関連品	57,808	105.5
紙製品	ベビー用品、ベビー用おむつ、介護用品、大人用おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー	136,894	105.1
家庭用品	台所消耗品、洗面用品、清掃用品、収納用品、季節品、保存用品、調理用品、卓上用品、行楽用品	48,899	104.5
ペット・その他	ペット用品、文具、玩具、カー用品	150,056	110.7
	合計	719,119	105.9

カテゴリー別については、ペット・その他が前年同期比10.7%増、ホームケアは同5.5%増、紙製品は同5.1%増、ヘルス&ビューティー (Health & Beauty) は同4.6%増、家庭用品は同4.5%増、ハウスホールドは同4.2%増と好調に推移しております。カテゴリーの構成比が大きいヘルス&ビューティー (Health & Beauty) については、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、国内外における人流が活発になったことで消費者の外出機会が増加したことにより、基礎化粧品やメイクアップ等を中心に需要が伸びております。また、ペットについては、グループ会社であるジャペル(株)の専門性の高い提案によるペット用おやつなどの伸長により、好調に推移しております。

業態別売上実績

当第3四半期連結累計期間における業態別売上実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

業態	当第3四半期連結累計期間	
	自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	前年同期比
		%
ドラッグストア	376,454	107.9
ホームセンター	101,932	103.2
スーパーマーケット (SM)	82,646	103.7
ディスカウントストア	53,348	107.5
GMS	30,658	100.6
その他	74,079	103.5
合計	719,119	105.9

業態別については、ドラッグストアが前年同期比7.9%増、ディスカウントストアは同7.5%増、スーパーマーケット(SM)は同3.7%増、Eコマースやバラエティ業態が含まれるその他は同3.5%増、ホームセンターは同3.2%増、GMSは同0.6%増と好調に推移しております。

社会全体の経済環境が厳しい中、各業態・各小売業様の特長に合わせ消費者動向を意識した提案を行うことで小売業様に貢献してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は336,793百万円となり、前連結会計年度末と比較して45,935百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は263,424百万円となり、前連結会計年度末と比較して45,743百万円の増加となりました。

これは主に受取手形及び売掛金が29,737百万円、商品が14,969百万円増加したことによるものであります。

固定資産は73,369百万円となり、前連結会計年度末と比較して192百万円の増加となりました。

これは主に建物及び構築物が893百万円減少した一方で、投資有価証券が812百万円、無形固定資産が525百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は191,700百万円となり、前連結会計年度末と比較して32,940百万円の増加となりました。

これは主に1年内償還予定の社債が6,000百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が38,347百万円増加したことによるものであります。

固定負債は37,021百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,991百万円の増加となりました。

これは主に新規発行により社債が5,000百万円増加したこと及び、長期借入金金が2,161百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は108,070百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,004百万円の増加となり、自己資本比率は32.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,886	21,700
受取手形及び売掛金	114,690	144,427
商品	40,135	55,105
未収入金	33,259	36,786
その他	5,902	5,605
貸倒引当金	△192	△201
流動資産合計	217,681	263,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,351	20,458
土地	21,022	21,313
その他（純額）	9,081	8,857
有形固定資産合計	51,455	50,629
無形固定資産	5,010	5,535
投資その他の資産		
投資有価証券	11,557	12,369
繰延税金資産	1,055	453
退職給付に係る資産	1,241	1,486
その他	2,907	2,948
貸倒引当金	△51	△54
投資その他の資産合計	16,710	17,204
固定資産合計	73,176	73,369
資産合計	290,857	336,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,383	137,730
短期借入金	18,869	19,707
1年内償還予定の社債	6,000	—
未払法人税等	2,651	1,809
賞与引当金	1,721	792
その他	30,134	31,661
流動負債合計	158,760	191,700
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	11,696	13,858
繰延税金負債	37	45
退職給付に係る負債	8,394	8,439
その他	9,902	9,678
固定負債合計	30,030	37,021
負債合計	188,791	228,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,568	8,572
資本剰余金	27,872	27,876
利益剰余金	65,812	71,918
自己株式	△3,475	△4,303
株主資本合計	98,779	104,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,865	4,443
為替換算調整勘定	△9	0
退職給付に係る調整累計額	△568	△454
その他の包括利益累計額合計	3,287	3,988
非支配株主持分	—	17
純資産合計	102,066	108,070
負債純資産合計	290,857	336,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	678,996	719,119
売上原価	613,260	648,529
売上総利益	65,736	70,589
販売費及び一般管理費	55,638	58,161
営業利益	10,097	12,428
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	181	194
業務受託手数料	133	119
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	635	715
営業外収益合計	955	1,032
営業外費用		
支払利息	129	207
持分法による投資損失	13	90
売上債権売却損	115	113
その他	9	49
営業外費用合計	268	461
経常利益	10,785	12,999
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	56
特別利益合計	—	56
特別損失		
固定資産売却損	—	57
固定資産除却損	1	21
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	6	78
税金等調整前四半期純利益	10,778	12,977
法人税、住民税及び事業税	3,185	3,903
法人税等調整額	354	317
法人税等合計	3,540	4,221
四半期純利益	7,238	8,756
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,233	8,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,238	8,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	577
為替換算調整勘定	46	7
退職給付に係る調整額	47	113
その他の包括利益合計	428	699
四半期包括利益	7,667	9,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,662	9,437
非支配株主に係る四半期包括利益	4	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月7日付の取締役会決議に基づき、自己株式135,600株の取得を行いました。この自己株式の取得の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が827百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,303百万円となっております。

(セグメント情報)

当社グループは、日用品・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年11月7日付の取締役会決議に基づき、2024年1月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

(1) 株式分割の目的

当社は中期経営計画2026において、成長戦略の推進による売上・利益目標の達成を図るとともに、PBR 1倍超を視野に、さらなる企業価値向上を目指しており、その達成に向けた施策を推進していくこととしております。

今回、株式分割を実施することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大及び当社株式の流動性の向上を図ってまいります。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2023年12月31日（当日は休日につき、実質的には2023年12月29日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割を行っております。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	18,028,712株
株式分割により増加する株式数	18,028,712株
株式分割後の発行済株式総数	36,057,424株
株式分割後の発行可能株式総数	60,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2023年12月14日
基準日	2023年12月31日
効力発生日	2024年1月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年1月1日をもって、当社定款第5条の発行可能株式総数を変更しております。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>30,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>60,000,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

取締役会決議日 2023年11月7日

効力発生日 2024年1月1日

(4) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。